がいて我認証者の がでれる。 世界の動物で

思ふに観察経済が全々複雑さなり一個の経済は他國の経済は他國の経済が全々後継さるでも、我國経濟界の海がある。

財界の将來

和草を急いで居るが念々一月 の条布を見る豫定であるが、 ・ はて居る湯洲國政府の新商 週附の漢びこなり遅くさも二 ・ は関連) 實業各方面より待望 末までに完了のよ、法制局に

排出

理京株式取引

長所

不回目新

中谷時計店

零結三八五四

浦鹽間に

車運轉開始

龍)須藤

凱

日本橋通牌前

注目をひいて居っ な品の流

は各方面の

四萬に滅じ命は帰順を申込んと丁超は野本社はソ領に通人と丁超は日軍は一掃され僅かに馬賊さた虹側の匪賊さが僻陬の地で変動するに過ぎず、中夏世で変動するに過ぎず、中夏世で変動するに過ぎず、中夏世の余を算した英麗は十二月末 局談の形式で左の通り確実では常の治安情况に飲き陸軍では常

で居るものが多数にある。 機も刷新せられ治安は急速に 大なり、熱河省には黒間で経濟的利益は 大なり、熱河省には黒間で経濟的利益は 大なり、熱河省には黒間で経濟的利益は 大なり、熱河省には黒間で経濟的利益は 大なり、熱河省には黒間で経濟的利益は 大なり、熱河省には黒間で経濟的利益は 大なり、熱河省には黒間で経濟的利益は 大なり、熱河省には黒間で経濟的利益は 大なり、熱河省には黒間で経濟的利益は 大なり、熱河省の外

本案實施に常つてはその第一 養手さして先づ金融組台を可 及的急速に組織化し一面その 資金供給機器さして動業銀行 を創設し更に之等を基礎さし で逐次販質組合。組成に若手

満洲國に生れ出る

農民金融組合

括弧内敷字は昨年同期月計計

(日人) 図が一元)

《公子三十五十五二

新商標法

制定近く完了

常面の質別さして目下の財界は一所年前に比して著しく改善者され景気の前途に動して相響のコンフィデンスを有つに至つたさ解して過ちあるまい。 一般 歴明を担通したさ謂はれてあるのである。 施設動業にして脛5所なくんば蓋し週家経りの勝分は大に括目すべきものがあんう。

野するに木年の財界は表面的 要するに木年の財界は表面的 大なるものがあるこ共に實質 大なるものがあるこ共に實質 大なるものがあるこ共に實質 大なるものがあるこ共に實質 大なるものがあるこ共に實質 大島の撮影を成すの違れ 大島の撮影を成すの違れ 大島の撮影を成すの違れ 大島の撮影を成すの違れ 大島の撮影を忘れてはなる力 よの遺影に因はれて經濟界 大島の指影を忘れてはなる力 よの遺影に因はれて経濟界 好轉を見たとさは結構である る景気は墨寛するに一時的昂 高に止まるのみならず河民生 新に止まるのみならず河民生 知す金融界の基調は本格的に 観漫を助是してある。此の方 節から受くる事業界の和益は

は、僧掛も跳れ唇話してるのであれるがのだった。

二人は常分友人の安へ前りに行 ます。難ひに楽ないで下さい。 かいてゐた。…

告急

速張

叮新强擎調

各サイズ豊富

價提供

日本極通り市場入口

自

でさらか、干燥ちゃんまで、いむ

洋帳簿 各種製本專門二名堂製本所

下宿間合せは組合事務所 日 館 へ

である千幅ちゃん、関が思かつた。 ま。ゆるしておくれ、見せるよ。 ま。ゆるしておくれ、見せるよ。 と千個子 窓い世の中に、たつた二人まりせ もたよろものはゐないんだ。此の

師範 西田方山

千七十七、しかと兄の縁に抱き 信職は監数の漢に明びながら

東京} 大磷黎新聞

果京市韓田區豐局町

▽全國各藥店に

あり△

千難子も、しかと

脱そ一二張酸調けて歐用さるれば能く效果が識が其の他如何ほど離固動族の呼吸器疾患のたんせきも であるくにてマイギイ息切する人をき類に出で夜中 *** 野家る人が流行感冒も思るたんせきの人が行感冒も思るたんせきの人が一般を関すと思るたんせきの人が一般を関するとなるというない。 一百日せき又ははしかせきの小兒

入一 満洲國名画五 長崎カステーラ 年の、モナカ 人氣店

问題は熱

(ハルピン十一日登園通) 我の安全核門至く保障された 何の安全核門至く保障された ので東支観消雷局は十二日か ちハルピン浦健間の直端旅客 列車を運練する事ごなつた常 日本軍が警備のため業込む情

(百十五) (百十五) (百十五) (四十五) (四十五) (四十五) (四十五) (四十五) (四十五) (四十二十五) (四十五) (四十五

農業経營の大農化を圖らし ・農民金融の関滑を企岡し ・農民金融の関滑を企岡し

活況を示す

新京局の爲替貯金

個

一六、八五四次 (元公里・金)

りかへさうとした。野ので、樹がちぎれても関すまいとがんだ。

いいえ、こんな気には、わたし

ゐたくありませんわ

どうしてツて、お兄さまの出よ

といふのと、間じ間ですわっわ

(日・10次・43)

ないですか?」と、顔に彼がは やないですか?」と、顔に彼がは やないですか?」と、顔に彼がは

と等の機器の有機的相關活動 のである.

即年十二月萬琴貯金振替月計は十二日出來上つたが、尽替受入は一昨年に比し約叫倍貯金受入は約二倍、振替受人は約四倍の金額を示し居り、郵の有様で、現在局員は事變前の約二倍に增負され、更に近く増員が申請される模様であ

米國大統領に

村大大学

すんです。わたしに何も思さなく 信様は言葉がない。

彼がの歌からはボタトと三四論すれ、近野……」と云つて瞬いた

でも、干難ちやんは限みたいに

新權限附與

統制下に動いて居たが、一般制工を対し、

(元・1)治(, 次) [第三十)上, 0次] (1次0 题) ※17、图

るからなんだ!」

横石の信誉も、対の熱情には打た。 干燗らやんが質の味がなしてくれ りを、みんなしていぢめるんです マえ」、お似さまも一しよになつ

「あん、二人」しょに出てしまは よ。そしていつまでも聞れない

日本刀劍(艦定無料) 所古刀、研、白朝本造拵付軍 打關製及管質打撥、丁字油、 (鏡止)(槍式廠刀) 長春寧町小學校會 井上、現、刊 電源工艺的目標

行物一切 東部、大朝爾新聞計發

総対に動作用でし 衛林は最ら 政快 対果は最も迅速く

龍角散の適應容體書 たんにて常にコキンコキン悩む人 種各 版指賣定

撫順炭 電話三十六九五

「質はね、酸、この気を出てしまでいると思ふんだよ」 にあと思ふんだよ」 で離せ、酸、この気を出てしま である。 拠心の色は其の心のとは、 **『千鯛ちゃんには出る必要ないぢ** すに現はれてゐるのだ。 方 __ 大阪前船大連支店

日案內 エンし

おくと

目がに見か

たら

直ぐ治療しなけ

質は三浦屋 洋服類各科揃ひました 破格罪供 一二浦屋質店 一二浦屋質店 小口金融 柳相談: 廊 U 老子 祝町 丁目四番地 (西本願寺向右灣) から数 事なり 雕織機 解紙に確っ です LINE を過る して一生 ٤ 亢' 進'







はいけませんの増てる ぬがで 創刊明治三十九年、瀛洲に於ける漢字新聞として最古の歴史を有し、多年扶植培 歴を估む、實に滿洲の文化的開發と指導 座を估む、實に滿洲の文化的開發と指導 の最高權威也

は呼吸器へ直接に断動を

へますから、これに無

電話二五一七〇

殿物各種 小林履物店 では二三四四季

御待ち命

咳困難を去れ

節となりました。せき ンセキとゼンソクの

衛星 フェルト・ゴム底 最新流行形荷揃 が入組合加盟店

上作に從事してめる。之等 南京あたりより出張して來

之等の

賊は互に縄張り事を行び自

観する經緯につき詳細報告。に於ける日支順軍衝突事件に

滿洲國

關東軍司令部 鈴木顧問談

はする際に行がね なし新爆算に於てば前時代の で収二七。一六九千国に對し 一六、八一四千國を計上して ある勿論之れは治安未だ完か ある勿論之れは治安未だ完か

は大いに伸張し得可き好協の財産物の出産を を居る、故に治安維持普及し 、八三五千國の實收に対し 、八三五千國の實收に対し 、大田、八三五千國の實收に対し を居る、故に治安維持普及し を居る、故に治安維持普及し を居る、故に治安維持普及し は和税收入は全般的に著し く場加す可きこさは頭である は他各 を居る、故に治安維持普及し は一世の安 を居る、故に治安維持普及し は一世の安 に見行は晩秋以来高乗の が以来高乗の の出の方と には、、二一三千國を豫 を居る、故に治安維持普及し に見行は晩秋以来高乗の の安 に見行となる。 は一世の安 に見行となる。 は一世の安 に見行となる。 は一世の安 に見行となる。 として要るに過きす。 は他各 をとして要るに過きす。 は他各 をとして要るに過きました。 として要るに過きまた。 は一世の安 に見行となる。 は一世の安 に見行となる。 は一世の安 に見行となる。 は一世の安 に見行との安 に見行となる。 は一世の安 に見行との安 に見行となる。 は一世の安 に見行となる。 は一世の安 に見行となる。 は一世の安 に見行との安 に見行との安 に見行との安 に見行との安 に見行との。 としたる。 は、こことなる。 に見たる。 は、こことなる。 に見たる。 にしたる。 にしたる

世るるに至らは收税すべき町 第一年の豫算に於て己に順途 第一年の豫算に於て己に順途

耐財政五ケ年計議に使れば中 記南地の比ではあるまい禰洲

固なる

常然であるが、近き野來に終れていば直接税だる上肥所日に於ては直接税だる上肥所

から此の借入金は翰程網から此の借入金は翰程網

に従ひ現れて來るさもの信す

の又智が限りかある可をものの ・ 大分の裕取りかある可をもの ・ 大分の裕取りかある可をもの ・ 大分の裕取りかある可をもの ・ 大分の裕取りかある可をもの ・ 大分の裕取りかある可をもの ・ 大分の裕取りかある可をもの ・ 大分の裕取りかある可をもの

石本氏依然

朝陽附近にあり

してゐるから丁超の最後にな

るのも近からふ

せらるしものである

既に無河より訥河の方面に移

介石等さ意見を異にし行政院 | 京同四時三十分奉天へ向つた (上海十二日稜崎・) 瀬洲霞 | は十二日午後三時五十五分來 (上海十二日稜崎・) 瀬洲霞 | 協議政廣瀬町第三場長の遺骨 | お 唐 池 | 1 塩 長 3 遺骨

黒河に胃を病む

はすに衝む可きものであ 一時機更へ得る故に實際へく際に负債募集金の必

6号へて議別に於ては最も重せられるのであるか之れは台世られるのであるか之れは台ではなける質績か

政の將來 滿洲國財

要な財源さなるここと思ふ加

川を維持し丑同個行の基礎企大の英大なる輸出超過である。

千五白萬園 ミ云ふ比較的

局長等参集、陸州より川海岡

がしてゐる。 又花館隊で云上で、 無知の壯丁を報制的に訓練所は各處にあ

謀次長。柳川次官、山岡軍務 事參議官、荒木陸相。 吳崎譽

「山海陽十一日酸園道」九門 を攻撃すべぐ前所より前進せ を攻撃すべぐ前所より前進せ

第九團(廟長劉振東)は彰武 が領に出で打通線を各破壊せ んさしつつあるので我軍は乙 を酸重警戒中である

回打合せ會を開催して各地方省並に民間側体からは現識洲 関は過去一ク年間に直る三千 馬民衆の努力の賜物であるか ら爪來 A 文 け 婆 夫 な 記 念 祭 を 奉 行 したい マ 頻 り に 請願して 来 て る ろ か 政 桁 さ し て は 未 だ

合詞を開き井上、鈴木、菱刈臣室に非久式軍事参嗣官の初

匪賊討伐に

三宅〇隊勇躍

九門口東北

は十一日午後二時から省内大〔東京十一日麓國通〕陸軍で

事態重大化を説明

軍事参議官初會議で

打倒湯玉麟運動擡頭

たが毎回我軍に撤退せられに亘り猛烈な攻撃を開始し

ならざるに乗じ北軍は進撃と球に悩まされ行動意の如く

さねじた

略者である。之に對し自衛のは緩光間の不逞分子であ

侵略者討伐

容喙は不可

東側が討伐手段を課じても をもき同様網内の出來事に 過ぎず。他から使是文句を つける筋台のものでない。 日本観民は熱河の地位を明 原に認識して同省の事情を 影響に認識するの必要がある。

「山海側十一日麓盟」」楽皇島に於ける先般邦人の住宅を 原に於ける先般邦人の住宅を 原日全部銃殺された、尚同城 (秦皇島)在留邦人五十名(全 部男子)は今尙ほ我兵費門に 牧容され無事である

トン調査員の質問に對して際も熱河は頭洲崎の一部が際も熱河は頭洲崎の一部が

従つて省内で治安を素する の壁明をなしたこれを以つ の壁明をなしたこれを以つ

旅長連に住民も参加して

北部に最近

(=)

くなつた。熱河省内の反議軍 海省内に集中した。之が爲最 湯が間の反調抗日軍は大体熱 大掃蕩は却つて易々たり

するに湯玉

帝九) 建平に趙貞噲の率るる 高等)は凌源に。百八旅(随 高等)は凌源に。百八旅(随 高等)は凌源に。百八旅(随

又開魯。赤綠、園場には騎兵旅時料部承を台部承慮に集結し、 第百六族(張從書)さ 九旅の崔興は湯玉麟さ京志疎九旅の崔興は湯玉麟さ京志疎 は下籍に、鄧平、権目所 は尻をつくかれ、北端で敗

は地盤を荒れるで敗

は水安堡に本様を持つてある。 郷柱林軍、傷勇軍はハルモトに蟠舌して機を窺す はからまで質内薬古族からは 理立運動で脅かされて居る湯 理立運動で脅かされて居る湯 不気の整明に傾まされてめる即ち湯玉麟の態度曖昧にし る即ち湯玉麟の態度曖昧にし で命令敵氏せず最近は一度の で命令敬氏でする場がある。

魯北

荒木陸相から

部間に不平の壁が高かつたが はその確に達し地租の如きは その土地の管質價格で匹敵す る程で住民の反湯熱は急に表 面化するに至つた、殊に林西 の石集一族長、鶴士版長、崔 その實行運動に著手した模様の事態長は目下側山に集合して開版長は目下側山に集合して 九時十五年九門口占領後主力を李家堡、九門口東方に集結と同様の町北方山中に鑑用する開戦を機械すべく勇踏出動した

支那紙の

ヨタ海(天津十二日参嗣通)支那紙

他の三省さは不可分の網係熱河省は舊東北四省の一で

た。併も湯玉騎も獨立宜言里の長城なお旨を明瞭にし

鐵道破壊の機を窺ふ

巡河偽勇軍策謀

建國一週年を迎へる満洲國は來る三月九日を以て光輝ある

無河間関解決せず。時節柄川 東を単行し度いこの食向で富 中は冬地孔子廟に報告祭を行 ひ三日間に亘り祝賀會を催す

作霖旅の到着を待つて居るのため尙怪黒河に滞在して周のため尙怪黒河に滞在して周

滯獨中の

ウリングンの放売所で病氣加

【ベルリン十一日 穀湖塘】

汪精衞

國府の思請で

質素、嚴肅に擧行

十六日開育の十九ヶ崎委員 なつてゐるので十九ヶ崎委員會 なつてゐるので十九ヶ崎委員會

週年祭

恐々能動的となる

の 短制流道をさせてるる事で 困却してるるのは官僚が紙幣 し乙等の頭目終備 を解心に出る事を命じている事を命じる事を命じる事を命じる事を命じる事を命じる事を命じる事を命じる事をのの頭目終婚 省民の

年

頭

咸

心河入

集結

勢力抗争に没頭す

原の第色が表はれるご徹底的電 配を行つてるるので、エンサ の第色が表はれるご徹底的電 配を行つてるるので、エンサ

の苦悩を皆限 ・ 建画の大業者々さして進み してより月を関するこさ既に してより月を関するこさ既に の民衆か其のちこくより健 たる隣蒙三王

の腕手は遠くにみんである。 等子にあり募兵を機績し、キ 等子にあり募兵を機績し、キ

最近正規軍の熱河逃出が活種

一生古代 柳良は實力を以て反議抗日の腹を決め、

までも司法の運用を公正ならし、我か司司法制度の改善、提用法令の司法制度の改善、提用法令の司法制度の改善、提用法令の司法制度の改善、提出法令の司法制の改善、提出法令の司法制の政策を表示。 現てあつてこか含め 物にいそしましむを 治安の達成さ同様に 3

て其の業

司法部總長 対ドの我か線洲域にさつては 治安の維持か最大の急務であ るこさは首を俟たないのであ

見聞して我か副司法改善の資料法 権機壁の氣運を促進するここ を目的さしたのであるか日本 の治外法権御慶賈現は軈て他 の治外法権御慶賈現は軈て他

遂けたのは先進國日本に於け

率する吾人さして今更に責任る。年頃に際し町兵部に職を致の努力さ熱情さを必要さず 数の努力さ熱情さを必要さずっなが得るに歪るには官民一 出土炭くして民度問ほ高しさ

王徳林の家族

露領に逃亡す

日午後四時東寧を占據した王徳林は、都下四百名さ南方地區「北地」と、王徳林の家族は霧領に逃亡した。一方佳木斯から「追撃した飯塚枝跡の東濱占據も目前に迫り東支地道東部線方に逃亡した。一方佳木斯から「東京地域」 関部枝縁は王徳林軍を撃破して昨 北支各軍共 参戦を决意か

本来本儀太郎(日支間閣研究 會社長)十一日午賴九時三 十分外ルビン~ 一日午後四時三十分 「四川財政部長(爾東聯)十 一日午後七時有十分來京 一日午後七時有十分來京 一日午後七時有十分來京 一日午後七時有十分來京 一日午後七時有十分來京 一日午後九時來京同八時 一日午後九時來京 一日午後九時來京同八時 一日午後九時來京同八時 一日午後十分本京 一日午後九時來京同八時 一日午後十分本京 一日午後九時來京同八時 一日午後十分本時 一日午後十分本時

本市山神龍(殿樹磐線岩や) 同上 一个大田山氏(華天曾曾司令官) 以下五名同上 一个後四時三十分所行 一个後四時三十分所行 一个後四時三十分所行 一个後四時三十分所行 一个後四時三十分所行 一十一日午後四時三十分

人事往來

では出につき重要管護を行つ 並びに各新領で全の午後閣鶴山 泉より太原に至り午後閣鶴山 東より太原に至り午後閣鶴山 と前回電出に決定した 既に軍職移動を開始したが 既に軍職移動を開始したが 既に軍職移動を開始したが

「杉崩大尉(奉天惠吳分除長)

一、最低回二十六岁六十三日十二日の氣溫最高零下十七座

氣豫

天氣南西の風晴れ

太原北平進出協議

で健闘さを祈つて己まない次を明し併せて官民一同の警起

重大なるを痛感するご共に

たが會議後朱哲元は語る

秦皇島の掠奪犯人

全部銃殺さるる

數多柄新

ムバルアトチプクガ

輸入組 加盟店

目丁二町野苔

石〇九三二結電

長の重大職費にありながら病

電療養に名を結りて遠く編逸に去つてるた任精術は政府及に去つてるた任精術は政府及代理行政院長、宋子文等の歸氏の帰國は非常に重大な意味を有するもので各方面に一大な意味を有するもので各方面に一大

安く賣店 日

華洋行

ランピアン オ新設官 ガイナミックス 日本放送協會推獎品 金一百三十五日

滿洲總代理店 オナフト修理 敏速

77

50

無線電機部 荷 行

待望久しき名浪曲講演の

1 年の後の狀況を含くに山海調 事件養生後期首李海峰は石本氏 京政府に護送したこの流言を 放つてるるカ事實は石本氏は既に 南京政府に護送したこの流言を なった あった あった ここか明らかさ

夕!每夕五時半開演

酒井

創始者

文藝浪曲

長 方知阜遵野春 帮人人會行 社會會係部

主

東ス虎林方面に退却した虎林 た丁超は八日夜学科下二千を た丁超は八日夜学科下二千を

取扱店 做多魔、神谷商店割引券 市內名即髮店並に

渡邊運動具店具

當る十一日より三日間限り

きも衝政時代の八、二一〇千 国に尉し三六九四千回を計上して居るに過ぎない。ここ〇千

二百餘萬劃を満洲中央銀行か大同元年寿豫第は歳人不足子

安を維持し、民業を陸興せし、強國免債金巻千萬回の募集に終るのの治

62



聯盟の理事 ・明治三十年生れの卅七歳、貴族に獲員で少年版 ・明治三十年生れの卅七歳、貴族に獲員で少年版 ・寛道と戦し戯の研究家として知られ著書亦多き東京

現在の高率な歴況は一種の悪現在の高率な歴況は一種の思言性を知るさが出來る現在の高率な歴況は一種の悪

は其約四分の一の二九五五千町版府時代の豊穣に動し新政府

に向て鞭税軽減の可能性を示し、自復の收入を一千萬周以上

あるから國庫の收入も著しく 非常に就くここか出來るので 非常に就くここか出來るので

の方は能もに変明的施設さへ でか強別されて居る一方歳出 の方は能もに変明的施設さへ

新くて満洲戦政府財政の安置さ相俟て其經濟の最適も必すさ相俟て其經濟の最適も必すれた。何れにしても強洲戦はれる。何れにしても強洲戦は北多いの後達を始めなければならぬか然に躬發の資金は自然日本の数本に関る所か最も多いさ考をである我が資本家も進んで

丁超の最後

他の金融想して計算された鬼際の密輪密覧も相常に行はる

男軍に望みをかけ之に注

一収々 ごしてるる 事もある程である、又内心は 日新ご衝突し到が修利を得た 北附近では劉桂堂ご郡文、橋 北附近では劉桂堂ご郡文、橋

展んに軍隊、頭撃等の輸送を で更に熱河、出海腸方面には 医より惹起されたものである

行ひ既に熱河には三旅を派遣 面の事態は重大化して来てる

を得獨立國さして贈めらるでや、中華民國さも明確に對す に於ても民國を外部扱さなす こさでなり、民國さの輸出入 食物に對しては外國品さして の職稅を課するこさでなった。 從て關稅收入は今後增加する ものご考へるのが至常である。 然るに大同元年豫算に於ては 然るに大同元年豫算に於ては があるに大同元年豫算に於ては

「東京十二日最初通」連報區 「東京十二日最初通」連報區 「東京十二日最初通り連報區 「東京十二日最初通りに単族通 「東京十二日最初通りに単族通 「東京十二日最初通りに単族通 「東京十二日最初通りに単族通 「東京十二日最初通りに単族通 「東京十二日最初価」連報區 「東京十二日最初価」連報區

吳で海軍葬を行ふ

供し之れが根本問題は失張り 及は誰でも知つて居ることで ありますが其の根本方針は畏 の道に辿り實践躬りせられた のであります、其の動語をは孔盂 では其の悪が至つて版であります。 くも明治大帝の教育勅語でご では其の悪が至つて版であります。 では其の悪が至つて版であります。 では其の悪が至つて版であります。 では其の悪が至つて版であります。 では其の悪が至つて版であります。 します、天鵝明先生の は其の悪が至って版であります。 ではまることで は其の悪が至って版であります。 ではまることで は其の悪が至って版であります。 ではまることで はより、大部の、大部語でご はまり、大部の、大部語でご はまり、大部の、大部語でご はまり、大部語が立派な神さな でもする。

て居るのでありまして、日本を見る事は出来なつたのでありまして、私共さしては智に別なの温道徳の二字を抱いて實行し人に接し、物に動し、我なを勘迎又は歌送自顧人も及はざる御心切に御世話下さり、兄は兄たり、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450、第1450。

首ひ巻せない程和氣器々で歓呼を極めたのであります。家 の素質を極めたのであります。家 の素質な事は家を齊へ

関下に御目に掛りました時は 担手してから数十分開御演覧 なさいまして鬼角我々に望む 所は人和を得て其の天時地利 を全斗する機にさの御数であ ります、東京市長は我々を費

日早朝鐵道北院易宿泊所か6日早朝鐵道北院易宿泊所か6 本は原籍茨城縣水戸市をが、右は原籍茨城縣水戸市を勢繁温で(三)十二月末日奉天か6來京町配宿泊所へ投宿したもので、奉天の某版館でトランクを窃取して入質、ハルビンの厳値を陪倒す等各地

で悪事を働きおり相當の除罪一

十一日午-後歸る 十一日午-後歸る

課長の慰骨

東京後七。1110ニュース(英

特急ハト

新京九時急行營業

滿洲國外事

州語氣象強報及派洲語ニュ 東京後六、二〇時事解説(領

なら

意

一下包工

新京後八、一五ニユース気象

かすかり カビ 葡萄酒

3

V

着牛堂野院前

コサチ

東京後八。〇〇ニュース(柳

であります。 天上を平にせずであります。 天上を平にせずっても治まらざるを得ないのつても治まらざるを得ないのであります。

百五將士死亡と認む

特産運搬保護

地方住民大

長白、蒙古、双山、楡樹。縣に参事及び屬官配置され、鑑松、

着任し目下着々建校事業に てゐるが既に十四縣に参手 てゐるが既に十四縣に参手

獲続馬錫附近一帯の新道路 ・ 管師學校婚樂

戦闘の鬼さ化し建調の機能調の鬼さ化し建調の開発事務を遂行るに密調の関党とは、調州里荷境警備除員さして

千八百里。自動車五百哩、水のは寧古塔。敦化西はテチスは寧古塔。敦化西はテチスル、南は満春チン列車行程

H

感

想

す。私の友人の家に行つた時は上の訴訟はないのでありま

予順が来たで聴いて隠れる

死体ーを強素して北方に逃走りの騎馬賊阘現はれ、同地自安里の所大坡子に又復興目不安里の所大坡子に又復興目不

に脱いて迎ひ、又送り、何軸 走やら御菓子やら付つて來る 走やら御菓子やら付つて來る

上に寫真を載せました。本庄人に皆握手を賜はり、新聞紙

日早朝銀道北隋易宿泊所から 新京署司法係池田刑事は十二

から引致

簡易宿泊所

國務院法制局質

苦心搜索も空し

凱旋の殿り

(國浦) 瀬洲湖西各縣の希安 に於ては強ての懸案により來 る十五日頃より縣政審闘會を 開催し縣制及び縣官制を審顧 付現在瀛洲國內各縣悉平の配

無員が苦残つて縣政指導に 総討伐軍に同行してゐる宜 幣山、富錦、樺川には東部

水道等で、新規事業の主なる人のは公費三十

満洲里事件の

遺族に弔慰金

最高三千圓に達す

近に匪賊

大榆樹驛附

ものは左の如くである。 水道等で、新規事業の主な

公費の部

御発下さいラジオでは時々 御発下さいラジオでは時々

慰問の手紙を托す立教大學海外協會派遣慰問團に

我名は十二日新京署を訪れて 海外協會から派遣された単生 海外協會から派遣された単生 京各小母校から

その慰問文の内容は皆同様に 著名保及各派出所へ配布した 真に本 代動いてある警官の苦痛を過程を機性に身をなけうつて日底を機性に身をなけうつて日底を機性に身をなけうつて日本の場合である。 依頼一のは門交二 強州に居られる人々の御経知りません。今日もの衛州 の御話を先生から聞きました。さてる寒いごころでお園のほに働いて下さるので私等はこうして樂しく勉強の出來ますのを心から嬉しいご思ひますお困りの事や おいやな時がたびく御座いませう。私たちはお友選や皆んなでおぢ様がお丈夫でもしてあまりお苦しみにらないで御働き下さいます様に神様に御祈りする事をきめました。ごうぞ御からだを大切になさいませ、原

第七小學校三年生

は歩三百五十里に達し、○ 関自ら参加した戦闘五十七 同で戦死者百世八名、資傷 二百五十六名である、強州 図内に於ける順肢も政治的 集團的のものは殆んご掃湯 しつくし、満洲域の理想た る王道政治が替及され満洲 が世界の樂土さなるのも選 くはあるまい、急々凱旋す るに常つて事變姓生前の溝 息が和くもので観測さ

縣参事の活動で

正常に復さん

突泉 にも近く必事が入る 事さなつてみる

全満の經濟狀態

確認新京地方事務所の昭和八年度を があつた、本年度の概算録 があつた、本年度の概算録 は約七十五萬間会で昨年に 比し約三倍に昇つてるるこの 膨張した事業費豫算は本社。 して相常の機性を拂ひ大横洲 の首都新京附屬地の充實を

◆平鳥町の一部(商業等校間)
◆東一條通の借業新設
◆東一條通の借業新設
◆東一條通の借業新設

昨年に比べ約三倍に達す

▲陸軍官舎附近の下水管敷設

水道の部

皇軍慰問の青年代表

り、本十一日より戦縮してか 特道に配し游撃除さ協力して 特道に配し游撃除さ協力して は、今回兵士を乗込ました駿

目を廻す程忙しい貯炭場

会さいよ酷寒。新りなるご三 家の飯は一度くらひ我慢して スキにもされるが、煖を採る ために焚く石炭は一刻も無く てはならない、編州馴れない ものはこの俄かな寒さに慄へ あがつて無炭苦菜に焚くこさ だらり、一日にこの頃ごのく もひ贖れて行くかさ観北の貯 炭竭にたづなたさころ、十日 以後は毎日六七百順づく市中 に配達してゐる、それで向は をの位の寒さかつぐかないさしても需要量は富分六七百噸はあるもので見られる。それは二十六日が海暦の正月元月に富るので、満洲人側が買ひに富るので、満洲人側が買ひたるのを行ふのを例さしてあるから二十日輪後まではこの状から二十日輪後まではこの状 来から正月にかけ各々の家庭 で買ひ溜めをやつてるたのが あるから一日ごのくらひ出た さいふ標準にはならねこのこ

定額の七割。吉林省は五割、也の一条天省に於ては收入建設を通過が、大道に於ては收入建設を開開水害の質、減收又減

滿鐵明年度豫算 七十五萬余圓

張警備司令

に風際に止るに過ぎない、然 はこれを許さないので、單 状はこれを許さないので、單 状はこれを許さないので、單

大喜びである 大喜びである 三月中に 質現せん 及的速かに行政医劃人事等の 決定を行ふべく月夜努力を重 中さ見られている

麻雀大會

署に於ては之事與論に繼み可

禁止園碁と麻雀大會

は長、編職十河理事以下化七 大警備司令は十一日午后五時 村子し小磯夢謀長、岡村副参 相待し小磯夢謀長、岡村副参 増

に復すべく期待してゐる に復すべく期待してゐる に復すべく期待してゐる 詳細は追て發表— 奉天に帰任する豫定を指引令は十二日午前新示義

于警備司令 傷兵還らん

地術戊病院に收容療養すること 地術戊病院に收容療養すると 日第三列車により断京者、雷 日第三列車により断京者、雷

前借を拂はせ 逃亡中を逮捕 洮南のカフェー女給

國際二千組 警長 本野食三 山內 象吉 本野食三 山內 象吉

を帯び中東緩絡の第一線にて非戦闘員さして身に寸戦をも 帯げす戦務盤付上勇敢にも職 に殉じたる季天保安區員故廣 で盛大に行はれた。演骨は同

ドルデ太郎トモレタイ 孟天海 主列率は無熱資率四方ひ歩等 事脱線し不通さなつたか勝急 作分便貨開催した

昭和八年一月十二日

(廿二日頃)

(廿九日頃)

廣瀬氏の 遺骨還る

徐子鶴殲滅

一、検討ラ受シペキモノ 2、既在立ク年以内・種痘シタルコトナキ者及様痘シタルコトナキ者及様痘シタルコトナキ者及様痘シタルコトナキ者及様痘シタルモイ養感ナリシ者 種痘月日

施行區域

至中後四時 太子堂 筋 的 及 组 所

1月十六日 新京市内 1月十六日 阿田一月十八日 同

資物運出し

から反對

一月廿三日 新京市内

施行區域

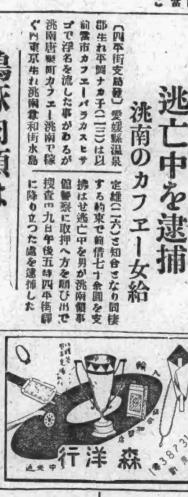
至午後三時 太子衛

堂 所听

を一瓢に攻略するものご印起事件勃養さるに日本軍が平津 「大津十二日養婦部」山海順

一、種痘後己滿五 中者以及種痘而不善感(不出)者一、會未接受種痘者 但除生後未過九十日者 應接受臨時種痘人 申上マス市上マスの関係省の東京の関係の代表を開発を受け、大学のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは

新京地方事務所長 荒 木



奈良縣人ニ告グ

中込所 梅屋旅館 飯田伊之助 中込所 梅屋旅館 飯田伊之助 第二一一九

探の下に實物を十の箱に貼めたか扱し何處に運ぶか誰か保存すべきかごの軍閥に委ねても記棒にあづける様なものでは皆物をごの軍閥に委ねてても二度さ北平に還つて來ないさて北平からの持出しに動し反對運動を起した

十一一日から五分値上 り名内共二割の値上方を新京 特に鷄肉豚肉に限り五分の値 上をじふこことと十二日から 上をじる事となつた 上をじる事ととのた。 は第十一列車は機関車、第十 上をじふことととも、 によった。 によった。 によった。 によった。 には、第十一列車は機関車、第十 上をじふことととも、 によった。 によった。 によった。 によった。 には、第十一列車は機関車、第十 上をじる事とととった。 によった。 によった。 によった。 によった。 には、第十一列車は機関車、第十 上をじる。 によった。 になった。 になった。 になった。 によった。 になった。 鷄豚肉類は

は第十一列車は機輌車、第十一日朝の吉敦線大湿河老爺

毛皮ショール

天然氷採取貯藏に 許可主義採用

日本機通り

車にて編洲的官吏多数の出迎は十一日午後六時三十分著列が事課長洪公余氏の演骨 車にて福洲國官市

初春の御婦人方へ

総名帯帯 本 糸紐 え 針類メ場り 店門事 お召物新入荷

の高いの方に

をデールール 会行サービス の一番 一人前二十個 同語 一人前二十個

電話三八四六番

であ。たつたいま俺ご一緒に であ。たつたいま俺ご一緒に 屋敷をわけ出し、最州深邸に、 してくれないか。」

美人揃ひの

血液循環治療院

「そして、回復の上萬事藩の

を承知して

四五

店

富士町二丁目二十六

療時間 至午時九時(日)

松田本中

政俊

石

まのっちにかいつまんで大き咎められる恐れがある、代別中だが歸つてられば、

ついては後ますべてを対に数

切叮嚀に治療教ます。 是非一度網來院を即購び申ます自宅治療に限り全身治療(七十選)か見治療二十銭にて親の血液循環療法にて健康を御保ちを御願ひ申上ます。 誘病氣は血液の不顧より來ます 血液の不顧を治すには常院

内無双の劍藻しかる戦争のさ

飲を討たねばなるまい

「さっかも知れゆ。併し、第一「えっ、やつばり、昨夜の長

氣分はごうだ。」

の瞳物は切開せずして治療し瘢痕 或 能障害を胎すことたし

も旬日を出ずして容易に全治する マテス神經痛の如き容易に治し難 鍼灸治療は醫術の補足と見る可く

或さ事をリンク

御料理

席。曾我廼家

是非一度お越しを! お酌も揃つてゐます

診察受付 正年上 5

さむい冬が來ました

之助は壁をのんでさびしく

むっせ。

第 いさるか、私事にわたるるや ・ た起征討軍に加へて責ひ、河 ・ 大松を討つて、亡節の仇を得 ・ かる決小ぢや、かるる場合、 ・ かる次小ぢや、かるる場合、 ・ かる次小ぢや、かるる場合、 ・ できる。

(四)

り歩きは川来の三保障づけが――雑馬。さっなるミ、 かあらました。 が語つた。 の形の死を告 こうも、昨夜の佐 では、これでゆくのを、傍歌してをれるものか。だから歌してをれるものか。だから歌が、島川にすがつて我が、勝来を護分なりこも、打倒してゆきたいのだ。」

でゆったいのだ。」 「お・今になつては、それが 藩を数ふ唯一の消だらう、維 添んな身體。残念ながら、ま

商

明けまして おめでたう

助七号

吉

田

電燈

光景院

會御料理

吉

理話三一五九四

で 熱セキ止メ肺 で 熱セキ止メ肺

头摩校前

吉備洋

備洋行

御

理

吾

妻

工事請負

3. 2. 1. 器形を損ぜず 特長 でれずず

受讀者の御家庭に御奬め致します品に敷倍する事を認め茲に本品を極力本紙館の子東子の耐久力は實驗の結果他の類似 東京日日新聞計東京支局並 西 尾 市

君は一切をなけうつても、仇しい焦慮。それらに對しても

「むろんぢや、冬路ごのは他 中でね」 「むろんぢや、冬路ごのは他の男が すたね」

本紙愛

者に

告

As,

エルジン、エフケー自轉車時的店 各種自轉車販賣 各種自轉車販賣

池畑自轉車商會 店

電話 七二八四番

梅

車子特へ當是車自夫でのを供に 店非は轉な丈シ

ーズンが参りました安く質用にも娛樂にも自轉車

會席御料理

親切で叮嚀

神小內 精兒 科科科

島

城內西五馬路

入院隨意 免許產婆 (日曜祭日中後休险) V

州話三一七二

產科、婦人科 善生堂醫院

目科療診 住宅 科科

診療(至午後五時)日曜祭日午前中

及春富士町二丁目 點 二六〇六香

社会 年後二時より午後二時迄急患は此の限りにあらず

(日曜休)

社覧の需に應ず 小凡科科 杏林堂醫院 堂脇サト子 电话 {IIHIIO

外科、性病科

同仁

一醫院

皮膚、泌尿科

休龄日一每週月曜日祭日

出年の日本

田

入院隨意

日本橋詰新京ピル二階一號室

村田醫院

one 軒套椅

婦產人科科 堀

新京著名 PSE PSE 院

女よし

會

富士町一丁目

電話二五〇七書

廼

小口台 兒腔科 曲外一 科科般

安谷一 安谷勇水

四腔外科 早川 『醫

隨時往診應需 人院隨意

口曲科外科

小

醫

院

百野町一丁目十四番地

電話 二四五春

日本橋通郵便局前 電話三七五六番 醫院 ヘロイン中毒 痔疾科 小兒科 モヒ

性內

を なる 額 も 選 を 入四 番番

和息は定限以上 で未會の大利下けを断行する 取るべからず 大口貯金の引出し増加し今日 取るべからず 大口貯金の引出し増加し今日 東京十二日後國第 現行利 医郵便貯金減少額は九億國の東京十二日後國第 現行利 医郵便貯金減少額は九億國の東京十二日後國第 現行利 医野便貯金減少額は九億國の東京十二日後國第 現行する

をの理由さして大の二つが事 いた人力で行くのであらうか をの理由さして大の二つが事

をの如く述べてのる をの如く述べてのる

次して繋前材料はかりではない、各個は日本品を目指してい、各個は日本品を目指してい、各個は日本品を目指しており、 第にエデブトは昨年六月 る、既にエデブトは昨年六月 とり数上的観光を課し扇阿は

職東州や議職沿も實施す

振興資金段置の必要がの時間質上けを断行し

會社にも徹底した取締を無路替輸出も税量のみが

改制息制限法

はその常時遊資の洪水に備まされた程であつたが昨年下半期に入つて郵便貯金の利下けを断行するで乗回し引縛さ十月に違人つて未合の大利下けを断行するや資金は、根然他方向へ轉じ大口貯金の引出し増加し今日を野便貯金減少額は九億圓の

大瀬省預金部内 る大瀬省預金部内

息がない貧高利貸は種々の潜 定がない貧高利貸は種々の潜 定がない貧高利貸は種々の潜

引揚沙を命ずる様な事こな さし営替銀行を如何なる程 さし営替銀行を如何なる程 でおっていたが、 は替取引

議會を前に再燃

は二億関に達し大蔵省領命都では明鮮不動産資金等の融通を決す機調査してるるが豫定を決す機調査してるるが豫定を決す機調査してるるが豫定を決す機調査をでこれが執着に手を内定、近日中に面翻決定せん

はるみは、銀座でも一派さ云はれるカフエ、オリエント。 っ女給さして、百人あまりのの女給さして、百人あまりのの女給さして、百人あまりの原の田舎の小さな地土の娘におぎなかつた。町の女學校を卒業して、それからお嫁にゆくまでのあひだを平凡に、幸福にお琴の稽古に明つたり、本事を見習つたりして暮すく

らた。 はるみは、あぶてく額 東京には、なるみの様な去

が待ちかまへてみるにしても か待ちかまへてみるにしても 上をかじい乍ら餓へて死ねよ

体を投けかけるやうにして椅

、三津澤の榜へ寄つて行つはるみより先きに、喜久江

は素素テマクラビリ

M-122

小册子『恐ろしい編虫』や申載大節進星

于服皮

たでもれだけをたのみに

んで、入つたさころに突つ立 つてるたが、はるみさ瞳を合 すご、直ぐそのましそこにあ

ーデンニクマは日本

■はの根拠 ン様類の がマ駅山鍋

やかな都會の容氣の中で窒息 するさころだつた。 女學校様代に、不良ださ云 つてつまはじきをした友選に

た。はちみは、量いここ自分の好いお客さんだつた安川をすつばかして、三津澤の様へ

春

の

衣裝

農林負債整理案 でも所澤飛行學校で教育するここになつてるる

いの政府案言政友案さを折衷し の政府案言政友案さを折衷し を今議會に提案する言折合つ た模様である 合法案

上の利息を支続ひたるものに對しては返還の要求權を 與へる。他人の淺遠に乗じ 定規以上の利息を收得した る金融業者、又は馬旋業者 に對しては五百圓以下の間 を、若くは三年以下の懲役 上の利息を支持ひたるものは法律契約を貸したるものは法律 以下さす。定限以上の利息 に提出か (東京十一日養婦組) 政友會の山口幹事長は十一日年後四 時後最優相を訪ひ負債整理問 した際職相は農林省所官の問 した際職相は農林省所官の問 した際職相は農林省所官の問

爲替管理法に對する

銀行側の意見

二月中に公布 (間頭)質業部では隣菜法の施行を順に、海正月明廿二月 上旬新京に於て各省より代表 三名宛を招集し礦粉會園を開 億各省の意見を徹し最後的决

郵便貯金大減少

政府の用途計畫に齟齬

嘅相政友幹部

巨額に達した、しかも例年一月には増加を見た貯金が本年は十日間に既に一千萬國滅じは俄然時職に乗り上け下半期は俄然時職に乗り上け下半期が近に乗り上げ下半期が近に乗り上げ下半期が近に、

一線、新京大和通四四十の他の日漢兩文、一

放霧をはなれることが出来な だはあるの父母は、その生れ だはあるの父母は、その生れ

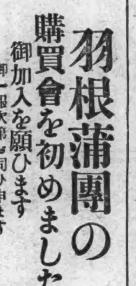
東海が生命を賭けた。 はるみは、いま、めまぐこ

これがおしまひなんだから」云ひきかせて、ごつき落者カラつさした。

はるみは、いま、めまぐるとしてかう云ム世界に生きて来た自分が果して三津澤の懐 へ飛び込んで行つて、相手を へ飛び込んで行つて、相手を とったのは、いま、めまぐる

脚買會を初めました 御加入を願ひます 御加入を願ひます 御加入を願ひます を願い申ます ま野町二丁里(北端旅館所)

取物電話一二三一番



罐渍海乾

詰物物物

卸商

電話三〇七五番

產

◇ 村岡吳服店 叮嚀 親切

新柄陳

確 實

地場銀行を御利用下さい首都新京に唯一つの

MA A 社 長 春 實 業 銀 行

《商

、防寒帽子、其他防寒品、かりウン、狐其仙高級毛皮種々、カワウン、狐其仙高級毛皮種々 支店開設と毛皮廉賣

....

P ■ 二五三五 ● 吳服店

安全に排虫

シ錠

三笠町三丁目 電話二心聖書 商

表彰品 金革號 御用達

CHRITISHEN

防水工事請負徵裝工事請負

emmanna.

刊

紹介

水寄 たせ き鍋

し竹食堂 相對電話二七二四

店

し動り

のみ

案の説明をなした

(=)

克

の空軍

愈々窮せる

張學良の兵匪懷柔策

石河右岸の

陣地漸く成る

を現に一番人飛行士の加きは でかる日茶露人を想逸人が動

合の優秀機を有し乍ら日本の 飛行機には何の敵動行為も出 来なかつたではないかその半 数に過ぎない傾行機で何か出 来るか日本軍の上空运行かな い前にたとき落されて了るに 定つてめる」ミ沖事もらして ある因に馴良軍の飛行機は後 の逃走別の馴良自用機三機の 南京へ南京へ

長就任法院

開始したか6多分今夜天津を り類州方面に集中する事さな る管でかる

た兵を進めるさは全く信じた兵を進めるさは全く信じるれない。要するに鼎良かその態度を決せざるに於ては彼の外遊さころか。おそらく逃げ場所をも失ひ結局自殺の一路を探ぶ外ない窮地に陷るのであるうさぎはれてるる

不可侵條約締結の最後の可不可侵條約の締結を要求しても全工業を戦争確信に向けた故で今や之により日路

能性は消滅したご

我對案ご調和す

べき

△で地に成るの

事務局案の處理

王刀を灤州方面集結

1 もので第二線も大半出来上つで居る

皇軍の平津進出は

信ぜられない

在滿外人間の批評

包頭に向ふ

清通平校線の終點包網に向つ 信職に駐せる馬鴻遜軍は十五 信職に駐せる馬鴻遜軍は十五

こして御良の宜傳による所謂(認通)支那方面よりの情勢

心から恐れめる平津地方にべきも観際関係を不利なら

在銀高一四三、三九一兩在銀高一四三、三九一兩十三二十。四五四兩

高大開

四八四州

上海在銀高

支那の洋稔的抗議に

外務省から反駁

中に原案を告終らせ午後の台

満洲國の森林開發に

合 雜 栗

大の元本

共榮起業の計畫

大公使館付武官を派遣するに大公使館付武官を派遣するに大公使館付武官を派遣するに大公使館付武官を派遣するに大公使館付武官を派遣するに大公使館付武官を派遣するに大公使館付武官を派遣するに

學良の對日

は皆時度軍で兵力は四千五百 ルスピード消過するので詳細

兵力移動終る 保定、石家莊、北平一帶に 現家口 歩兵一ヶ族 お除である) 部除である) 部除である)

山海親事件は我方の調査に

(東京時間通)共築起業會配本交渉し て緯京した門野社長、鉄原銀次部其他新役出席載に通洲森林部其他に飲き講別遊政府を種類と、鉄原銀次

行ひ、一致して森林資源開始が開政府内に横洲森林伐採掘門野社長の報告によれば、精

合 程 栗 玉 高 大 四 平 街 段 豆 街

八九四五

一致して森林資源開け

六〇、一九宝

鮮米四十萬石

伐採種を有する磷鯉、東柘さなるため徐々に行ひ内地側の

汽 完量克<u>□</u>

向人。安那人二百余名で、之 の異騎無き自回答したさ。而 の異騎無き自回答したさ。而 に努力されたき旨の希望があ

日の一当場

工月 大豆三元。五一〇豆類工月 大原子八〇小麻子八〇小麻子八〇小麻子八四川豆餅二二三瓜子六九九麻子一〇三 小豆六〇計四三、三六一二月 十豆五一、六六四豆類 其他一、四九三高聚五、四一一小米一、四二二苞米三、五一一六小麻子一、二四三豆餅

総ち的抗議を我政府によこし 事件に関し南京政府は餐に逆 ・ 山極脳 南京政府に提出する客だヶ右に訓電したので近く条使からを呼駁すべく十一日有吉条使

十分我憲兵屯所並に同地牌 者あり、我駐屯軍に終ては 一九〇一年最終職定書には 権利を行使す可く犯人選 がに向ひたり、尚我出先官 悪は現地支部軍憲さ協定を 窓け南門を一時我軍に終て は現地支部軍憲さ協定を

、同じく機関銃に耐しては挺領に二十三元

同じく大砲に對しては四

小銃を鹵獲する者には一

でかぞれ相常の金質を質異

年 頭 所 (東京十二]日發國源] @林省食数 威 買入れ决定す

の常套手段であるこころか6 の常套手段であるこころか6 の常套手段であるこころか6

天津塘沽一帶

歩兵二ヶ旅、騎兵二ヶ旅

騎兵ニケ版

北平附近

歩兵一ケ族 歩兵四ヶ旅

山海關實情調査に

劉次長北上す

認めて

照宜傳ださして嘲笑してるる 別によつて實行の伴はぬ懐柔 肝心の単良臓下の軍除ですも

政友會總裁 事實に依て 歌 米 人 に證明ゼ ねばならぬ、尤もこれは永さ 時日を要する 大 事 業 であつ で、現在働き盛りの日本國民 が完了し得ねば第二、第三の 個民の不被の努力に俟たねば ならぬもれだけに関しみでも ある。 鈴木喜三郎

1 二十百六千三第

髁を地方的問題にあらずし 観民政府は日本の山海師占

約二週間で瞬京に降来するしむる事ごなつた劉次長は北上せしめ提舉良ご協力4

るはせ

前線に送る

「南京十二日登園通」園民政府は本日中央政治會議の決勝に基今外交次長劉崇傑を北支に派遣するに決し劉次長は十一日午後六時浦口簽律浦線で急遽北上北平に向け出發した右に釈き國民政府は十一日である。

整る最近泰皇島一帝の形勢 緊張し且又日本軍九門日の 政職を開始し支那を窮地に 陷入れんさしつもあり、調 にするため側外交次長を

部を紡ひ紙女幹に手交した「南京十二日観師」山海関事件に関し 観民役所に對する

交日

内務省首脳部會議を西相官部 (東京十二日登録) 漢単法 (東京十二日登録) 漢単法

選舉公營案

羅外交部長に手交

我が回答書

意々員の建設であり、其文化 したのである本年の肝要事は したのである本年の肝要事は 即も吾國民が隣邦たるの被家 推移したのであるが。此の籍 中財政経費の籍方権が刑書に 中財政経費の語方権が刑書に 大に、國内問題に就ては、政

方策中如何なる點を一層徹底 せしむ可含か、而して徹氏せ しむるには更に如何なる立案 方法がよいか、為替ご物質さ

の緊張さいふ事ならば 厳人の大責任がある。

かば疑問であるが、一般、世 する問題であるが、一般、世 の中の萬事萬端を非常時の一 では、世 では、世 であるが、一般、世

部で百五十億石の森林を有し 場を新設する意向であるが、 場を新設する意向であるが、

1元9日

四月、太豆一一一、四〇五豆 四月、太豆一一一、四〇五豆 四月、太豆四八〇芝麻五六箭麥六一〇大麻子二三小麻子九五豆 供一、〇六一豆油三八爪子一五〇小麥六〇大麥二三計1二二 〇四五

は吉鲁沿線のみで州億石

三、交通

を樹立する薫向であるこ。 共を樹立する薫向であるこ。 共 祭會社では同場内平静の目安 祭會社では同場内平静の目安

OHII Cht>.01

六三老り

はあくまいか、臨時應念の對領 は明快には明快に其軌道に居すべき種類のもの は明快に其軌道に居すべき種類のもの は明快に其軌道に居すべき種類のもの は明快に其軌道に居すべき種類のもの は明快に其軌道に居すべき種類のもの は明快に其軌道に居すべき種類のもの は明快に其軌道に居すべきで 数治順體の行政は明快 ではならぬ。 凡ての政治的 でなられてはならぬ。 凡ての政治的に依ち ではならぬ。 凡ての政治のと類は明快 ではならぬ。 凡ての政治のを定してはならぬ。 凡ての政治のでなる。 高適なら理 をして陰陰を忌しの展習を便 してはならぬ。 先づこんな所が年間の所感である。 先づこ

其他昌國。 双扇子、郭家店の 会を加へて制配総合計二十九 高九百十一順になるか、これ を昨年藤園期院内在貨二十二 は七戸順の増加を見せてある。

大月 大豆四九、四四一豆類 大月 大豆四九、四四一豆類 の芝麻二十番参二、三九一小 解子七四二瓜チ五九小豆二八

原案成る

國有財產法

の結果内務省で實行可能さ認識を促した、山本内相は右三条中の一案を决定し閣議を経改を行可能を終めている。 認めたる改正 柳次官は第 のさ見られてゐる。 案を開酵提出さ見られてゐる 樞府初會議 議案なく散會

商震龍炳勳兩軍 二上書記官長は午川十一寺宮本るも上議案無きため倉富。本沼正副翻長以下各副間官、本沼正副翻長以下各副間官、本沼正副翻長以下各副間官、

長明も同様の不振ぶりである二百九頭さ高値よりは二圓~

【#京十一日登録通】午順の東株市場は私外に深刻な反動東株市場は私外に深刻な反動を見せて日産は百周臺割れ九十九側で、鏡紡は二百四十八側で高値よりは十七圓安、新収は

める選事公營案を含める折衷 に意見を交換して散合した。 たる後時動問題に就き雑額的 に記き雑額的

諸株低落

もので日本政府は事件解決は自衛上今日の行動に出たは自衛上今日の行動に出た

するのなりに関する一切の権利を将来に関する一切の権利を将来

びに民政部に於て四食部原案

の起草に含る事さなつた

新京管内の

院內現在

ヤ

四平街驛中心の

貨物動き三

海外市况(+18)

マラン、ユレチフ氏へのアグ ・ に駐日露婦大使りロヤノフス ・ 中一氏の楽訪を求めコンスタ ・ コンテンスター 駐日露大使更迭 ユ新大使は三月來任

レマンを異へたのでトロヤノ の表記の答である 上旬来朝の答である

(新京十二日間通過)今後積々 村主院。在貸は十日現在間資 で實に二十九萬七千五百十一 順5百個でその内理は 大。豆 二面 空三順 高、梁 へ、元会順 下蜀黍 10、三芸順

七年九月まで 六年十月から

日露不可侵條約

最後的可能性は消滅

一、四洮洮 昻線 過連絡貨物高

見おば左の如きもの 大年十月 大豆一、大二〇高樂 1四〇小米一八〇苞木一八〇卷木一八〇卷木一八〇卷木一八八大麻一千八八瓜子一四二雜製三〇計

先物寄付

売の跡 みる

大連錢鈔 (計日前場)

五小版子二三〇豆餅二一三瓜子五三六十二五、七〇〇七年一月 大豆二四、九二〇豆類其他一。〇八〇高梨八七二个米一八二包米三六〇吉豆六〇四芝麻七二番麥四七大六麻子九九小麻子一一五豆餅三二五瓜十六二七賦子一一五計 十一月 本豆 、六〇〇豆類 共他三大〇高架=三〇小米三 〇枚木三〇斉豆六〇一芝麻六 七電麥八二八ヶ麻子一六八ヶ麻子一一七 餅六一瓜子一〇 二計六、九九四 十二月 大豆一、九一〇豆 類其他七二〇高架六〇〇小米 柳四四裔李四六〇大麻于一四

合豆豆雜

1.100

大四公里

八七包米六、八一七 『豆一、九〇〇芝麻九一一番麥一五、 九〇〇芝麻九一一番麥一五、

奉取相場(十二日前頃) 阪神相塲 (+11日)

城内錢鈔相塲 出來存 艺 字 現物10 元 第 101 元 3 安 101 元 家 京取相集

现大洋錢對金票 對 金 票 對 金 票 九九八六〇五九九八六〇五九七七五〇

美酒佳肴 座裏 話三四九〇番

香八〇八三話電 町曜

御藥の御用は 是非御電話にて 話二六〇二番

五月 大豆九八。一〇〇 類其他三〇〇高聚三、九〇一小米一、〇七八苞 个一、二六〇十五亿两千五小麻子一七六豆饼一、〇九〇瓜子五七大麥二三小豆大〇雜九計一〇八、四

東亞號藥房

大〇一苞木大〇〇字豆三大三 大〇一苞木大〇〇字豆三大三 八月 大豆一、九八〇豆類具 州三〇高黎七五〇小米三九〇 被米七八〇吉豆九〇芝麻一番 麥四六〇小麻子四三八豆啡二 〇四小豆九〇計五、三一四 九月 大豆二、八三九高梁一

る(未完)

では昨年六月ラットン調査圏 では昨年六月ラットン調査圏 に東京十二日登越頭 リ外務省 め

の對外配給の便宜を持つ松竹 信では先づ第一に 外頭の一般 民衆に免開する必要から映画

戦場らしい戦争をゼロばなり、此際ですから多

は追て

會

(廿九月頃)

・ 中日側紙で拜見しました ・ 中日側紙で拜見しました

スー方法さして講經及新京美 概覧尊を、西廣場小無校に於 展覧尊を、西廣場小無校に於

一物流一を集き、活

である。因に右州品搬入は

長春座問題

いより

揉める

探しの催しも企てられてゐる 情を催し、尚一般來衆には實 が新京さしては、西公園に於

の事に育てられ、虐待されつの事に育てられ、虐待されつに、まだ西

はれる事になつてゐるが、常で來る二十二日全诵一齊に行

一七日上付 しき社會問題を惹起しつしあるので執京智に於ては引種意興査を行つた結果、主人貫一は以前當地で解職さなり、現在は陸東官舎工事場の苦力監督をなしており、現在の内縁の妻テョノの前身は喊原の酌婦あがりの前身は喊原の酌婦あがりの前身は喊原の酌婦あがりの前身は喊原の酌婦あがりの前身は喊原の酌婦あがりの前身は喊原の酌婦あがりの前身は喊原の酌婦あがら山田ご回

一人、二十一歳から二十五歳 の者十八人、四十六歳から五 十歳の者二人、五十六歳から五

の内線の妻松岡チョノ(三六)が是女ヒロ子(一五)、是男師が是女ヒロ子(一五)、是男師

きつてめる家庭では父親賞一を大和ホテル裏の馬小屋に求 もんし

に観業をつぐけ、機母のチ は夜週く広吞み歩き、内を外

してゐる してゐる

戸外デー

感が濃厚であった

氣覗き に壓倒され

インフレ景氣で迎えた断京新年三日間の花柳界カフェー等の水揚駅況はごうであつたがめるに萬人が等しく準想してみるに萬人が等しく準想してるた景氣を見事裏のつて甚だ 料亭はまるで火が消にた様

分新京養飛行機で哈爾賓に赴 の哈爾賓地方事務局開設に列 の哈爾賓地方事務局開設に列

合係に照合する事になつて居 なな○側長は海湾"吉長"吉敦 を換方性視察の第十二日午前 大時華天出費。山坡鏡、吉林 教化、断京を終て十六日頃奉 天に篩選の答

「モスコー十一日酸 3個3 日本軍のため 解破された 李杜磨 の 会電によれば彼等は 護隊に おんじ 横ツ 々領マルイロ の 会電によれば彼等は 護隊に

視察旅行) 團長

内地へ中繼放送

限り、仲茶館で変も

百八十七名

天野大リンタにて奉行さ 新京商業學校では去る六日奉

父も父母も母なり

も缺陷

丁供はまた名うての不良

長尾司長

は十二日夜八時三十一分内地 は十二日夜八時三十一分内地 約十五分間に亘り中種欽瓷を

代らればなられて云上が

直もにソ聯官窓のため武装牌 前三千イマン地方約百五十で と等拘禁者中に李杜を含まれ であるこ

ケー大會で アイスホッ 商業優勝

會議 新京警備 るので試験地獄は盆々強烈

支 本

店店

大連市祭町四

山澤長等列階した
山澤兵隊長高地源兵分隊長高山澤兵隊長高地源兵分隊長高地源兵分隊長高地源兵分隊長高地源兵分隊長高

測量器械で製

圖

用品

會株

社式

內

田

行

出張所

新京中央通三六

電話三二六番

支支支本

春 天 春 日 町 一 東京日本福區等町二 大阪市東區偏後町二

連二中を初め補洲にての張り ームさして誇る無軸中學を見 事一蹴して優勝の榮冠を纏つ ななほ乗る十七日朝鮮京城に ななほ乗る十七日朝鮮京城に

でしたものと深續して小屋 かあり其の内の百名は筆町西 約半数は振り落される事

和紙陽至感光紙和紙青寫眞感光紙

發賣元

感光紙と

焼付

新京大和運門治生命保險株式會社 新京大和運門治生命保險株式會社 新京大和運門 計

来ない資揚かあるので仲茶屋 外茶屋の種がむづかしいこの 中茶屋の種がむづかしいこの 中學設置の要を諒解 田副總裁 単校も又多数市市望者をフルーで一番の難報である人際試 つて一番の難報である人際試 も

純日本簞笥

和祥家具

製造販賣

内地ノ職人ノ作ッタ

は成るべ

ニュビ京新

ブを少く

俱

くウエー

年型の中

一九三三

年向きの

御くしさ

しまして

京

を諒解

室

內裝飾

=

高尚ナ簞笥

2

極ク

上品

デ

ス

一多分一のごみられ 期待に副ふど約す

タキあけたプワモノで。ノド オ六字の時から長唄専門にタ オ六字の時から長唄専門にタ

女。然し金は山程積んださて で来いの三拍子揃った得難い

外務省が松竹に

紹介映畵製作を命ず

日本精神宣揚が目的

使命を持つ映画の製作配給

が寒いこ云ム非難暗いこ云ム たくてはさ思つてめますので何さかしなくてはさ思つてめます場内

禁煙基と麻雀大會

圍碁大會

(世二日頭)

語った 語った 語った

行者へ直接っ社ヶ6契約をする人と、 一番へ及貸しさ云ふのでなく 類行者へ及貸しさ云ふのでなく 類行

本キャピタルのダンテーよし 手さる日嬉しそうに顔をゆか めて中谷は計店に首飾を購ひ に来たがイトも朗らかに日く 「アノ人から買つて載くのだ からなるべく上等な品を」に は店員一同ダ

the state 等平明 鮮魚小賣相場

車病老 足カレ 六〇 1111 カニか

五五 アワビ *** 三八三〇

サノギボナ リルラナリ エー七三 〇〇五

TO TO THE TO TO 茶 お 世帶道具、陶器類 陶器類色々 爾門的馬

純年風ハリウツド式 家 粉京三笠町四丁目五 具

≥二葉に現れ博愛衆に及す。

一葉に現れ博愛家

ーピスでノウサ

新京常黎町一丁目六番地二新京中央通大阪屋號向横町 フリージャ美容室

「金州自園產澤庵」

五百樽を限り

阿二十

ます

れて居り

しが好ま

トな御く

ピスマー すつきり

年頭の御奉仕

「たくあん」です舊年の御愛食を謝し大同二 年を祝福する爲年頭の御奉仕を致します 園産の味本位の

新京大馬路五馬路角

直 賣 所

十樽以上の御注文は別に御相談に應じます

樽に付七圓八十錢

御 電話(三)の助社)書 町野吉春县

大同工業寫眞株式會社

新京中央通三六 電話二一一六番

ブラク …… 粉 洗

會歡

迎

科管目業

代倉海陸運

及及资

保金營業

六五四

前各項關係

支店等資訊

勉强第一

料理は江戸前

勢妓好感

サービス満點

電話三二九五

特に勉强如何様にも

御相談に應じます

新

= =

際

會株

新

任理 役務 當 扱 宅宅宅所所部庫 朗

三笠町三丁目電話三人〇三省

略茶、富貴紙原價發賣

お料理席

支

店

東



も
中
も
は
未 すでか朗くし美



クラブはき白粉

イ ケ カ ……

和ても宜敷うムいます 電話三二四十番)にさ

特に御相談に逃します

三条町丁-

オンカフヱー

₹話二三七九番

曾

◎開業廣告

寫士町三丁目

新年會の御宴席は是非

嬉野へ御用命の程を

樂道食

クラブビシン 粉洗 ブ

西脇洋行

さ用右

の節は電気

ブラク 身美プラク …… 液身美 口 紅

三人の御夫人

揃ひも揃って

定非御立寄りの程を!!

小宴會の御需めにも應じます然も至極御安く願つて居ります 調味は自慢

柱框、落掛は澤川闕製致して

大山間本山

其の他飲物利洋菓子果物利食洋食萬般麵類紅茶コ E

新京百貨店食堂

『スターシュース』 お侍にせしました、弊兵獨特の たから一時も早くお求め下され 廣春洋行



書食夕食

A 夫人のお話

てゐます、是非一度御出向きを願止ます 富士町二丁目富士町二丁目 東

から何卒一層の御引立を母顧申上ます今般左記の通り木工部を増設致しました 目科業營 其他木工請頁 和 洋家 具 類 柱

女中

店計時廳佐

海洋には郷相談に廊じます 新京保行場南方 一一 宅 牧 場が京保行場南方 一一、 正味 一、 四貫入 小樽 金参圓也一、 正味 一、 四貫入 小樽 金参圓也一、 正味 一、 四貫入 小樽 金参圓也一、 正味 四貫入 小樽 金参圓也

一宅牧場

(型錄進星) 代理店 製作元 88 阿 社资 カナへ商會製作所



元窯 店の 香蘭社販賣所 有田饒卸小賣 日田漆器代理店

電話四五九二号では、一九五五号 龍

石 松 茂洋行

汗服オーバ其他色々 * 大 店 * 博多屋を支店を対する。

保管確實

葉書にて左記に申込み下に収扱ひ致しますから御 代送 石 記取 Zamanamanamanaman, 古日から 割烹

い朗らかなホール 花も質もある暖か 割烹藪吃

します) 美昧萬點

本年も相響らず得引定を Zantanananananananana Zantanana

出 立後の た 省區域

奉天、 大連 (市街圖)

發 兌 元 奉天信湊町十三番地■四三五六 交進 社出版部 寮捌所 郷京 森 野 審 神大 同元年 を行、建國最初の地圖

格 符 養 概 変 剧 度 七 個八十四全